



あじさいだより

夏の空気をたくさん感じられますように ～グループホーム～

グループホームではお盆に合わせて、ご入居者のみなさまと一緒に精霊馬を手作りしました。ナスとキュウリを手で割りばしで足をつけつつ「そーいやあ見たことあるなあ」と、風物詩を楽しんでくださっていました。



午後からは夕涼み会と称して、テラスでシャボン玉に興じました。中庭で育てている夏野菜が風に揺られるのを



眺めつつ、ストローをふいたり、輪っかを勢いよく振って作ったたくさんのシャボン玉がテラスを飛んでいくのを見て、「きれいななあ」と職員もご入居者様も一緒になって童心に返ったようにはしゃいでいました。

今年は例年にもまして厳しい暑さが続いています、この調子で心身ともに元気にすごして、残暑も吹き飛ばしていきたいと思います。



ひまわりのアーチをくぐれば夏のはじまり ～特別養護老人ホーム～

毎年恒例の「あじさい横丁」ですが、今年は初夏を感じていただけるよう会場にひまわり畑をイメージした装飾を施しました。

当日は多くのご家族様にもお越しいただき、ご利用者様との記念撮影やキックボウリング、じゃんけんゲーム、ハンマーボールなどのレクリエーションで大盛り上がり！景品もたくさんゲットしていただきました。

古き良き日本の行事に懐かしさを感じる楽しいひと時となりました。また来年のあじさい横丁もお楽しみに！！



「地域で安心して暮らすために — 在宅介護支援センターの活用を」

高齢化が進む現代社会では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支える仕組みとして、「地域包括ケアシステム」が提唱されています。医療機関や介護保険サービス、介護予防、移送や生活支援などの保険外サービス、さらには地域の助け合い活動など、多様な支援をケアマネジャーや包括支援センターと相談しながら、バランスよく活用していくことが大切です。

行政でも、お弁当の配達やタクシー券の交付など生活を支える取り組みが行われています。また、社会福祉協議会による「ちょいてご」など、ゴミ出しをはじめとした日常生活を支えるサービスもあります。ただし、これらはご本人やご家族の生活上の困りごとに合わせて、どの制度やサービスが利用できるかを検討し、申請する必要があります。

【あじさいQ&A】 ～グレースケア あじさい～



Q どのような施設ですか？

グレースケアあじさいは、【小規模多機能型居宅介護】のサービスを提供する事業所です。

小規模多機能型居宅介護とは、ご自宅での生活をできる限り長く続けられるよう、「通い（デイサービス）」を中心に、「宿泊（ショートステイ）」や「訪問（ホームヘルパー）」などのサービスを一つの事業所で一体的にご提供する介護サービスです。

● 情報を得る手段としては、広報誌を確認したり、直接電話で問い合わせる方法がありますが、地域の方や友人・知人との会話の中に有益な情報が含まれていることも少なくありません。昔ながらの人とのつながりは、身近で信頼できる情報源であり、支援そのものでもあります。

● 住み慣れた地域での暮らしを続けるために、お近くの「在宅介護支援センター」を情報源や相談窓口として、ぜひご活用ください。

<お問い合わせ先>

在宅介護支援センターAJISAI（あじさい）

TEL 0869-34-6368

◆寄付・寄贈御礼(8月)◆

大森 純子 様、平松 由香 様

ありがとうございました。

● 通い慣れた場所でそのまま宿泊ができること、そして普段から顔なじみのスタッフがご自宅に訪問できることが、このサービスの大きな特徴です。

● 利用される方やご家族の皆さまにとって、安心して温かみのある支援を目指し、一人ひとりにあった支援計画を作成します。

● ①利用については要介護の方だけでなく要支援の方もご利用ができます。

● ②ケアマネジャー、看護職員、介護職員が日々のサービスを提供しています。

● ③お食事を全て手作りで提供しています。

● 見学、ご相談、お待ちしております！！

お知らせ

あじさいだよりはホームページからも読むことができます

「社会福祉法人 誠和 特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓」ホームページ

<http://ajisai-s.or.jp/wp/>

あじさいだより

検索



QRコード